

令和3年度第1回島田市地域公共交通会議 書面協議会議録要旨

報告事項(1) 令和2年度島田市バス交通の運行状況(速報値)について

【主な意見】

- ・ 利用者の少ない路線について、費用対効果を含め利用状況を細かくチェックし、交通の方法やルート変更を検討すべきでは。
- ・ 川根温泉線、田代の郷温泉線については運行継続を願う。
- ・ コロナ禍での利用者の減少は全国的なことであり仕方ない。ただし、安心して乗れる対策の実施と、それを広報することにより安心して利用が進むよう引き続き努力していただきたい。
- ・ コロナ禍による大幅な利用者の減少、収束したら利用者が戻るのか心配。
- ・ 一人当たりの経費や市の負担額が高額となる路線は見直しが必要ではないか。
- ・ 利用者の大幅減少の要因は理解した。今後の運行について、コロナ前の利用実績への回復は困難だと考えるので、一定程度の利用者数減少の状態化を見込んだ運行方法の見直しも必要かと思う。
- ・ コロナ禍による影響はかなり大きく、今年度も改善する状況は見られず、引き続き厳しいことが予想される。こうした状況が続くようだと、バス路線の維持が難しくなるように思う。

回答： コロナ禍により利用者が大きく減少し、今後の回復が未知数の中、運行に係る経費の上昇も続き、市自主運行路線の現状規模の路線維持は、近い将来不可能となると考えています。

令和3年4月から実施しています、全市的な土日祝日ダイヤの導入も、路線維持のため効率的な運行を目指して行ったものです。

現在、今後も持続可能な公共交通網構築のため、事業者と意見交換を始めており、令和4年度から6年度にかけて、全市的に公共交通網の見直しを行う予定です。

見直しました運行計画に基づき、地域公共交通計画を策定する予定です。

持続可能な公共交通網案については、今後委員に提示します。併せて、地域公共交通計画案についても今後御審議いただきます。

また、公共交通機関の安全性についても引き続き啓発し、利用促進を進めていきます。

- ・ 相賀線について、他路線と比較して大幅に減少しているようだが、土日運休の影響が大きかったのか。住民の意見としてどのような意見があったか。

回答： 相賀線については、土日祝日運休による影響に加え、事業者変更による影響(バス車両からワゴン車両の変更及び区間分割による乗り換えの必要性)も出ていると思われます。

住民からは、土日祝日運休についての不満、運行要望が複数寄せられたこともあり、令和3年4月1日から、相賀線は伊久身線と共に、土日祝日に1日2往復の運行を復活しました。

報告事項(2) 島田市路線バス事業者応援事業の実施について

【主な意見】

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により現在も収入減の状況が続いている。交通事業者に対する継続的な支援について検討を願う。
- ・ 行政として、国・県等の交付金は漏れなく申請して欲しい。
- ・ 令和2年度の状況をみると給付は適切であると思うが、今年度も状況が変わっていないため事業者に対する何らかの救済を考える必要があると思う。

回答： コロナ禍により交通事業者が引き続き厳しい状況にあることは承知しています。どのような支援が効果的か、国の財政支援措置の状況も注視しつつ、引き続き検討します。

協議事項(1) 生活交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー）の申請について

合意する	合意しない
20人	0人

【主な意見】

意見等はありませんでした。

協議事項(2) 大代線・菊川神谷城線 車両更新について

合意する	合意しない
20人	0人

【主な意見】

- ・ バス運行路線は系統キロが長いため車両損耗が激しい状況。車両更新について検討を願う。

回答： 市コミュニティバスの運行開始以降年月が経過し、また系統キロも長いことから、バス車両の損耗が激しいことは承知しています。持続可能な公共交通網の策定の際に、バス車両の更新についても合わせて計画し、車両の更新を進めたいと考えます。

- ・ 車両はラッピングなどデザインを施さないのか。

回答： ラッピングは実施しませんが、車体にはマグネットシートを使用して路線名等を表示し、利用者が視認しやすい車両にします。

協議事項(3) 令和3年度川根地区スクール混乗バスの路線順路変更について

合意する	合意しない
20人	0人

【主な意見】

意見等はありませんでした。

以上、協議事項3点については委員の合意があり、島田市地域公共交通会議として合意した。

令和3年6月1日

島田市地域公共交通会議

会長 三浦 洋市